

消火器を設置して正しく使いましょう

火災の時、初期消火に最も使用されているのは消火器で、その成功率は7割以上といわれています。万が一のためにも消火器を設置して、いつでも使用できるようにしておきましょう。家庭には住宅用消火器の設置をお勧めします。

■住宅用消火器とは

一般住宅で使いやすいように開発された蓄圧式※の消火器で、次のような特徴があります。

- ▷ ホースが無い物もあり、軽くて女性や高齢者にも使いやすい。
- ▷ カラフルでデザインが豊富、また消火薬剤の詰め替えや消火器内部の点検も不要（使用期限はおおむね5年）。
- ▷ 適応火災が分かりやすい絵表示（図1）で示されている。



※蓄圧式…消火器本体にあらかじめガスを蓄圧している消火器。
本体に穴が空いてしまったとしても、そこからガスが抜けるため本体が破裂することはありません。

図1



■消火器の使い方

消火器を使って、すばやく確実に消火できるように、手順（図2）を確認しておきましょう。

図2



■消火器の点検

▷ 消火器にも使用期限があります。本体に記載されている使用期限を確認しましょう。

図3

▷ 本体に変形やさびがないか確認しましょう。

▷ 圧力計の指針が緑色の範囲内にあること（図3）を確認しましょう。



■消火器の廃棄

消火器はリサイクルされます。使用期限が過ぎた物、また、期限内であっても本体が変形したりさびたりしている物は使用せず、購入先、販売店、専門業者などに引き取ってもらいましょう。

問 市消防本部（☎ 0123）



弾道ミサイルにも慌てず行動しましょう

北朝鮮は過去に例を見ない頻度で弾道ミサイルを発射しています。発射された弾道ミサイルは極めて早い時間で到達し、日本の上空を通過する事案も起こっています。弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、緊急情報を伝える全国瞬時警報システム（Jアラート）を活用して、防災行政無線でサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メールなどにより緊急情報を知らせします。

避難を促すメッセージが流れたら、落ち着いて直ちに行動しましょう

屋外にいる場合

近くの建物の中か地下に避難しましょう

建物がない場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守りましょう

屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動しましょう

問 総務課（内線204）